

2022年6月24日

各位

不動産投資信託証券発行者名

東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号

恵比寿ネオナート

ジャパン・ホテル・リート投資法人

代表者名 執行役員

増田 要

(コード番号：8985)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社

代表者名 代表取締役社長

古川 尚志

問合せ先 取締役 財務企画本部長 花村 誠

TEL：03-6422-0530

2022年5月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の2022年5月度におけるホテルの運営状況につき、変動賃料等導入25ホテル（注1）合計の月次売上高並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR及びRevPARを下記のとおりお知らせいたします。

なお、各ホテルの個別の運営実績につきましては、本投資法人のホームページ（注2）に掲載しておりますので、当該ホームページをご参照下さい。

本投資法人は変動賃料の支払いを伴うあるいは運営委託収入を得るホテルであって、ホテル賃借人等から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル/項目		5月度	対2021年同月増減(注9)	対2021年同月比増減率	累計(注10)	対2021年累計増減(注11)	対2021年累計比増減率	【ご参考】	
								対2019年同月比増減率(注12)	対2019年累計比増減率(注12)
変動賃料等導入 25ホテル合計	稼働率	64.4%	36.8%	133.2%	53.8%	24.3%	82.4%	-26.0%	-36.6%
	ADR (円)	11,708	-149	-1.3%	10,939	23	0.2%	-27.1%	-30.5%
	RevPAR (円)	7,539	4,265	130.3%	5,883	2,665	82.8%	-46.0%	-56.0%
	売上高 (百万円)	2,985	1,357	83.4%	11,564	3,655	46.2%	-42.9%	-52.2%
うちHMJ16ホテル	稼働率	63.2%	38.2%	152.8%	52.7%	26.4%	100.5%	-28.4%	-38.1%
	ADR (円)	13,424	-537	-3.8%	12,398	-487	-3.8%	-24.1%	-28.5%
	RevPAR (円)	8,479	4,990	143.0%	6,536	3,148	92.9%	-45.6%	-55.8%
	売上高 (百万円)	2,657	1,207	83.3%	10,251	3,254	46.5%	-42.2%	-51.4%

※2020年2月以降、新型コロナウイルスの影響が大きいため、対2019年比増減率を併せて記載しています。

<特記事項>

本投資法人が保有するホテルについて、変動賃料等導入25ホテル合計の2022年5月度のRevPARは、ゴールデンウィーク及び週末を中心としたレジャー需要の回復や修学旅行等の団体需要獲得により、2019年同月比46.0%の減少となりました。

2022年6月度のRevPARは、5月度の傾向が継続し、2019年同月比で前月と同程度の減少率を見込んでおります。

このようなマーケット下、各ホテルでは、ゲスト及び従業員への健康配慮や環境衛生管理に努めるとともに、コストマネジメントを徹底した運営を行っております。また、現在のマーケット環境に見合った付加価値型商品や価格訴求型商品の展開に加え、夏季のレジャー需要や今後の回復が見込まれるインバウンド需要をターゲットとした魅力的な商品造成及び営業施策等を実施し、国内外のレジャー需要の更なる喚起と獲得に努めております。

※本日現在、変動賃料等導入25ホテルのうち、下記ホテルにおいて臨時休館を実施しております。
ホテルオリエンタルエクスプレス大阪心齋橋：2020年4月20日から当面の間

※ザ・ビー池袋（2020年7月14日～）、ホリデイ・イン大阪難波（2021年8月17日～）及び他一ホテル（注14）において、新型コロナウイルス感染症無症状者及び軽症者の受け入れを行っております。

- (注1) 変動賃料等導入25ホテルとは、HMJ16ホテルに、イビス スタイルズ 京都ステーション、イビス スタイルズ札幌、メルキュールホテル札幌、メルキュールホテル沖縄那覇、メルキュールホテル横須賀、ザ・ビー池袋、ザ・ビー八王子、ザ・ビー博多及びザ・ビー水道橋を加えた25ホテルをいいます。また、HMJ16ホテルとは、神戸メリケンパークオリエンタルホテル、オリエンタルホテル 東京ベイ、なんばオリエンタルホテル、ホテル日航アリビラ、オリエンタルホテル 広島、オリエンタルホテル 沖縄リゾート&スパ（旧オキナワ マリオット リゾート&スパ）、アクティブインターシティ 広島（シェラトングランドホテル広島）、オリエンタルホテル福岡博多ステーション、ホリデイ・イン大阪難波、ヒルトン成田、インターナショナルガーデンホテル成田、ホテル日航奈良、ホテルオリエンタルエクスプレス大阪心斎橋、ヒルトン東京お台場、ホテル オリエンタル エクスプレス 福岡天神及びオリエンタルホテル ユニバーサル・シティの16ホテルをいいます。なお、2021年度の開示対象であった変動賃料等導入24ホテルから、2021年12月に譲渡したイビス東京新宿を除き、ホテル オリエンタル エクスプレス 福岡天神及びオリエンタルホテル ユニバーサル・シティを加えた25ホテルを本年度より開示対象ホテルとしています。
- (注2) 各ホテルの個別の運営実績につきましては、以下のホームページをご参照下さい。
<https://www.jhrth.co.jp/ja/portfolio/review.html>
- (注3) 上記の数値及びコメントは資産運用会社が貸借人等から提供を受けた数値あるいは情報に基づいて算出・作成したものです。コメントはあくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。
- (注4) 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経していないため、資産運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものではなく、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご留意下さい。また、各月の売上及びその合計は、後に提出する有価証券報告書等に記載される各月の売上あるいは6ヶ月間及び年間の売上合計と一致しない場合があります。
- (注5) 稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
- (注6) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を含みます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注7) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいいます。
- (注8) 客室稼働率については小数点以下第二位を、ADR、RevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- (注9) 対2021年同月増減とは当該月と2021年同月との増減を記載しています。
- (注10) 累計とは期首（1月）から当該月までの累計値を記載しています。
- (注11) 対2021年累計増減とは、期首（1月）から当該月までの累計値と2021年期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。
- (注12) 対2019年同月増減とは当該月と2019年同月との増減を記載しています。また、対2019年累計増減とは、期首（1月）から当該月までの累計値と2019年期首から2019年該当月までの累計値との増減を記載しています。
- (注13) 売上高はテナント賃料を除くホテル部分のみの売上です。
- (注14) 関係者の承諾が得られていないため、ホテル名を非公表としています。

* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.jhrth.co.jp/>